

保護者の皆様

令和5年度学校評価 保護者アンケート結果

秋田きらり支援学校

年末に実施しました保護者アンケートへご協力いただきましてありがとうございました。アンケートをもとに学校では今年度を振り返ると共に、次年度の改善に向けて検討しているところです。遅くなりましたが、結果をご報告いたします。

【各質問項目の結果から】

25項目中21項目が、「十分できている、ほぼできている」と答えた方の割合が85%以上でした。

85%に満たない項目は「学校は自立活動室や水治学習室の施設設備をうまく活用しているか」「居住地校交流、交流及び共同学習等の教育活動は充実しているか」「地域の人材を活用した教育活動は充実しているか」「PTA活動を通じて保護者と職員が連携、協力しているか」の4項目です。

これらは「わからない」と答えた方の割合も高かったこともあるかと思います。本校といたしましては、交流や人材活用による教育活動の充実などに取り組んできましたが、その活動に関する情報発信が十分ではない面もあるのかもしれない。引き続き内容の充実を図りつつ、地域や保護者に対し、ホームページ・Instagramや配付物、学校展、各種メディア等様々な機会を通して積極的に紹介し、本校の教育活動や魅力を伝えていきたいと考えます。

【文章で記述していただいた内容から】

たくさんのご意見等をいただき、ありがとうございました。学校をより良くするためのご提言と真摯に受け止め、改善を図ってまいります。

(1) 担任や学年、学部での連携はとてもよく感じるが…小→中→高での連携がどれくらいできているのか不安がある。成長がゆっくりな子ども達が多い中で、授業内容、学校生活、教師の対応に負担になるくらい大きな変化がないとありがたい。

〈回答〉学部が変わる際は、特に情報共有を心がけておりますが、不十分な部分がありご迷惑をおかけしております。前年度までの様々な資料等を基に、前担任教員から丁寧に引き継ぎを行い、児童生徒、保護者の方々に安心していただけるように心がけます。

(2) 授業での水治学習の機会がもっとあればいいと思う。また、以前のように、夏休みに水治学習室利用の機会があれば利用したいと思う。

〈回答〉今年の夏は、まさに「酷暑」と言うべき暑さでした。そのため、屋内にある水治学習室は室内の温度が上昇し、それに合わせて水温も上昇したため、安全に水治学習室を使用できない日が多くありました。今後はたくさん利用できるように、熱中症対策をしながら、水治学習室の開設期間の延長を検討してまいります。

(3) 年度当初教材に名前を書くが、使わずに年度終わりに帰ってくるものが多い。有効的に利用できないのであれば、年度初めに購入せずに、教員や子どもで授業を進めていくうちに、何が必要なか決まると思うので、そうなってから購入したらよいと思う。

〈回答〉学校で使用する教材は、年度の初めに1年間の計画を立てて購入計画を立てています。しかしご指摘にあったような、未使用のものがあったこと、大変申し訳ありませんでした。今後、必要なものを購入するように努め、有効に利用してまいります。

(4) きらり祭などの行事に関しては、リハビリの先生やデイサービスでも、観ること（配信でも）ができると学校でどんなことをしているのか、理解できると思います。そして、共有することにより、子どもの成長につながるのではないかと思います。

〈回答〉児童生徒の学校で頑張っている様子を見ていただくことは、我々にとっても大変うれしいことです。最近ではICT機器が充実してきており、ネットでの配信も多く行われるようになりました。しかし同時に、ネット等に映ることがNGの児童生徒もおり、今のところは限られた方々への配信となっています。関係機関の方々には、障害理解研修会など参観できる機会をご案内いたします。

(5) 校外学習の時は食事の形態やトイレの場所、タイミングをしっかりと事前に確認してほしい。当日のアクシデントの際は、連絡してほしい。

〈回答〉校外学習に出かける際は、安全に活動ができるように入念に計画を立てるようになっています。しかしながら、ご指摘にあるように食事の形態やトイレの場所等で保護者の方々に不安を感じさせるようなことがあったことを、とても反省しております。アクシデントの際の連絡体制も含めて、改めて校外学習の計画立案の際は十分に確認していきます。

(6) 災害時にどのような対応をとるのか、決まっているだろうと思いますが、親への周知はされていないように思います。知りたいです。

(7) 7月の豪雨の際に、急に下校になった日があったが、安全を重視するなら少し疑問に感じた。高台にある学校から、車で身動きがとれなくなりそうな状況になってからの迎えに来て下さいメールは、果たして安全なのか。

〈回答〉災害時には、「危機管理マニュアル」を基に、関係者と十分に協議して、学校としての対応を決めています。最近では「熊出没」「不審者対応」「感染症」等への対応についても、マニュアルを更新しながら訓練等を行っています。しかし保護者への周知に関して、不十分であったと感じています。今後、懇談会や研修会等で情報発信ができるよう検討していきます。また7月にあったような豪雨災害時の引き渡しについても、安全面の視点から改めて考えていきます。

このほか、皆様からたくさんの感謝や励ましの声をいただき、教職員一同大変うれしくありがたく思っております。これを励みにまた気持ちを引き締めつつ全教職員一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしく願います。改めまして、ご協力ありがとうございました。